



協会理事長よりご挨拶

特定非営利活動法人
日本ホームインスペクターズ協会
理事長 長嶋 修

いよいよ時代は煮詰まってきました。

近未来。ロボット・AI(人工知能)化などテクノロジーの進展により、今後多くの仕事が消えるのは必至。が、金融リセット後のいわゆるBI(ベーシックインカム)で補完することによって基本的な生活は補完され「金のための仕事」が消滅。残るのは「それでも必要とされる数パーセント」「趣味としての仕事」。一方金銭が発生しにくかった地域活動やマンション管理組合活動が活発化。もちろんVR(仮想現実)/AR(拡張現実)で引きこもり組もでてくることでしょう。

これから起きることは例えば「大化の改新」「明治維新」と「産業革命」、「敗戦」と「高度経済成長」みたいな歴史エポック的な出来事がいっぺんに、あるいは連続してドン!ドン!ドン!と起きるイメージといえいいでしょうか。いやもうその大激変は始まっており不可逆といえます。とはいえむやみに不安になる必要もなく、みんな条件は同じですし歴史は続いていきます。どんな時代であってもほぼ影響を受けず、無風の人もたくさんいたほか、大変化をチャンスとして大きく躍進する人もたくさんいました。

変化のキーワードとして大切になるのが例えば「男性性より女性性」「西洋より東洋」「頂点を持つピラミッドより中心のないスイミーあるいはDAO(分散型自立組織)」「未来と縄文の融合」など。要は、いろんなところでフラクタルに、プラスマイナス・陰陽のバランス調整が行われるイメージです。「政官財など既存のピラミッド構造が崩壊する」とかいうと「それは大変だ。はたして日本はどうなってしまうのか?」みたいに不安になる向きも多いかもしれませんが、そもそもすでにホントに優秀な人は中央にはおらず、マスから見れば目立たない位置にいます。

崩壊すると立ち現れる新機軸。当協会は2008年より未来を見据えて活動してまいりました。住宅取引の世界も一気に変化の波に飲み込まれていくことになり、いよいよ私達の時代が来るのだと考えています。とはいえ私達のあり方もそれに擦れて大きく変えていく必要があるでしょう。取引データが整備され、AIが自動的に価格を算出、アドバイスもAIが一定程度行い、インスペクションのツールもどんどん進化していくはず。そんな時代にも求められるホームインスペクターとはどのようなものか思いを馳せながら駆け抜ける1年としたいところです。

2023年も引き続きよろしくお願ひ申し上げます。